

「十字架の予告1」

主イエスは慈しみ深く、悲しむ者、病める者を癒され、多くの奇跡を行われた。この主イエスを慕い、帰ろうとしない者たちが群衆となって群がっていた。しかし神が定められた時が来るまで、主イエスはお自分が神のキリストであることを隠し、弟子たちにさえハッキリ語ろうとされず、ぼやかしておられたのである。しかし時は秋、十字架の時が近づいていた。

神の時は、「あなたは生ける神の子キリストです」とペテロが聖霊により信仰告白した時から動き始めた。この時を境に、主イエスは苦しみの十字架と復活・再臨について、またキリストの使命について、弟子たちにハッキリ話され、その実行に踏み出されたのである。

主イエスが十字架で殺されることは、弟子たちに危害が及ぶ事でもある。主イエスは彼らにキリストの弟子としての覚悟・決心を求められた。当の弟子たちは、なぜ主がそのようなことを言われるのか分からなかった。しかし惨めな十字架こそ、私たちが暗闇から光に導き入れられる唯一の道であり、救いであり、永遠のいのちの希望なのである。

[聖書の学び]

I、主イエスの十字架の予告

(マタイ 16:21~22 p31)

1、キリストとは何で、どのような方でしょうか。

①キリスト(ギリシャ語)=メシヤ(ヘブル語)・・・「油を注がれ、人々を救う者」の意味

(ヨシュア・ホセアと同じ意味で「神は救い」)

②キリストの条件… 旧約聖書に預言されている多様な預言を全て、完全に満たした者

③キリストの使命… 罪に満ちた世界を一掃して神の国を実現する

・初臨——人として生き、人の魂を罪から解放し、永遠のいのちを与えるため
十字架に架かり、三日目に復活する。(イザヤ 53 章、ヨハネ 3:15~17)

・再臨——世の終わりのとき、この世の全てをさばき、神の国とする。
(ゼカリヤ 14 章、I テサロニケ 1:7~9)

2、初臨されたキリストとして、主イエスが弟子たちに具体的にハッキリ示し始められた事があります。何でしょうか。(マタイ 16:21)

①場所：エルサレム

②多くの苦しみを受け、殺される：ユダヤ人の長老、祭司長たち、律法学者たちによる

③三日目によみがえる

Ⅱ、主イエスを邪魔するもの

(マタイ 16 : 22～23)

1、信仰告白したものの、その真意を理解していないペテロは、主イエスに何と言いましたか？ (v22)

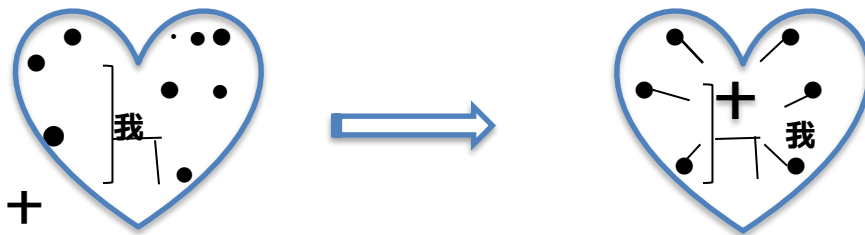
2、そのペテロに、主イエスは何と言われましたか？ (v23)

①下がれ、サタン… 人間の情を用いて、十字架による救いを止めさせようとする。

②わたしをつまずかせる… 神に全く従順でなければ、十字架が無駄になる。

Ⅲ、主イエスに従う者 (マタイ 16 : 24～28)

1、自分を捨てる、自分の十字架を負うとはどういうことですか？
自分の考えを一番にするのではなく、主のみこころを一番にする (V24)



2、マタイ 16:25 の意味は何でしょうか？

①自分のいのち… 肉体の命

②「それ」とは… 永遠のいのち

3、世の終わりのとき、私たちがさばかれるのは、どなたなの
でしょうか？ (V26～28)

自分に与えられた主イエスの十字架によって与えられた永遠のいのちは、
失ってしまったら、二度と得ることはできません。

* **ディスカッション** (心を開いて互いに話し合ってみましょう)

Q. 今日の学びについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。